

歌舞伎の見方や歴史紹介

東区・金城学院高で
中村隼人さんら教室

歌舞伎を知ってもらおうと、金城学院高校（東区）で14日、歌舞伎俳優による鑑賞教室が開かれた。NHK大河ドラマ「べらぼう」主演の薦重栄華（つたじょう）さんらに出演している中村隼人（はやと）さんらに、歌舞伎の見方や魅力を語った。

1、2年の約600人が参加。べらぼうで長谷川平蔵（ひさがわ）を演じた隼人さんは「大叔父（おやぢ）の萬屋錦之介（まんや）も過去にやった役。怖いけど楽しい部分もある」と明かした。女性である出雲阿国（いずの）から始まった歌舞伎が、人気の過熱で幕府に禁止され、男性だけで演じられるようになった歴史にも触れ、「武骨な男性が女性を演じるのも芸の一つ」と述べ、「伝統芸能に興味を持って、一緒に文化を守ってもらえれば」と呼びかけた。

市川三四助（いちがわ）さんと市川



翔乃亮（しょうのりょう）さんの歌舞伎俳優2人によるワークショップもあり、生徒は見得（みえ）や立ち回りなど独特の表現を学んだ。生徒会長の孫小喬（まごせう）さん（17）は「歌舞伎にはなじみがなかったが、舞台への興味や親近感がわいた」と話した。（渡辺真由子）